

平成27年度第1回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	平成27年8月23日（日） 午前9時30分～11時30分	
開催場所	加茂文化センター 第1・2研修室	
担当議員	班代表者	伊藤紀味枝
	司会者	伊藤紀味枝
	報告者	島野 均
	記録者	片岡 廣、九社前聿朗
	班員 (上記以外)	高味 孝之、宮嶋 良造、西岡 政治
参加人数	13人	
主な質疑 ・意見等	<p>Q：「議会だより」第33号 P3の臨時会の記事において正副議長選挙を初の立候補制で行ったとあるが、誰が立候補したのかよく解らない。もう少し詳細に記載するべきでは。</p> <p>A：P2で正副議長の氏名を載せたので、重複するため割愛した。これからは参考とし注意する。立候補者の氏名は載せるべきであった。</p> <p>Q：「軽自動車税の値上げは1年延期に」との記事において、消費税の値上げのことを言いたかったのか、軽自動車税の値上げのことを言いたかったのか、よく解らないので、説明を。</p> <p>A：軽自動車税の値上げの質疑はなかったが、関連しての質疑があったので、それを掲載した。</p>	
	<p>Q：32号P4でクリーンセンター整備費の負担限度額20億600万円の増額、33号P13、変更契約5600万円を増額修正など、工事内容がよく解らない。説明を。</p> <p>A：20億円は施設整備工事増額のことであり、5600万円は、敷地造成工事増額のことである。</p> <p>変更契約の件は、設計段階でピットの容積が小さかった（市の指定どおりではなかった）ため、容積を大きくしたことにより増額となった。</p>	
	<p>Q：中学生までの医療費助成拡大が、9月1日からとなっている。</p> <p>質問で、なぜ4月に実施できなかったのか。医師会・歯科医師会等協議の時間や市民への周知等一定の時間必要だったとある。</p> <p>8月1日実施の修正案も出ている。府との関係もあると思うが、保護者にとっては、わずかではあるが有り難い。修正案では全員賛成ではなく、賛成5、反対16となっている。</p> <p>小中学生は、5月、6月に学校で集団検診があり、結果により病院に受診するよう指導される。児童・生徒は、塾やクラブ活動等で時間に追</p>	

	<p>われており、8月は受診する期間としていい時期であると思う。</p> <p>A：反対した理由は、京都府の制度に伴うものであり、また京都府と医師会との関係で、8月実施は事務的に不可能だと判断した。</p> <p>賛成した理由は、市単費の事業ならできたと思うが、京都府補助金が大きく影響していたので、他の会派とも話し合った。また京都府の担当者と話をしたが、9月1日の実施がハッキリしていたので、賛成した。</p>
	<p>Q：議会だよりの表紙写真5枚のうち2枚についてピントが合っていない。なぜピントが合っていない写真を取り上げたのか。</p> <p>A：写真の一部がピントが合っていないのは、個人情報の関係で子供たちから了解を得て、その後、親子さんからも了解をもらった。ピントが合っていないものは、承認が確認できなかった写真です。</p>
	<p>Q：33号P4・5で「地方創生へ向けての本格予算を審議」とあるが、見出しと記事の内容について、何が地方創生なのか。</p> <p>A：3月議会は、骨格予算であったので、6月の補正予算で、新しい部へ組織改正、シティプロモーション、防犯カメラ設置など地方創生について審議が多くありP4・5に記載した。</p>
	<p>Q：32号P6の市税収納状況で、収納率が上昇、滞納者の差押えや催告等で厳格に執行することができ、成果を収めているとなっている。木津川市の収納率、滞納や差押えの件数を教えてもらいたい。</p> <p>A：市税の過年度分の収納金額、滞納額の金額、差押えの金額等を説明する。</p>
	<p>Q：市において滞納者や差押え対象者がどんな状態なのか、滞納、差押えの件数を教えてもらいたかった。その状況を議会で議論されたか。</p> <p>A：京都地方税機構の会議の状況を説明する。</p>
	<p>Q：33号P9で学校図書室にエアコン設置など教育環境を充実とあるが、図書室だけであった。教育の請願で普通教室のエアコン設置は、何回も出され、議会で採択されている。耐震化、吊り天井改修など子どもの命に係るもののが優先であり、現在、普通教室の設置の計画はない。</p> <p>どこの市でも設置されており、木津川市が遅れているだけである。請願で採択され、住民の思いを尊重して進めていくのが議会ではないか。いつも、請願に反対してきたところもあったが、採択されている、議会はもっと推し進めるべきだ。</p> <p>A：限られた予算であり、優先順位があるため反対した。</p>
	<p>Q：南加茂台から近鉄高の原までのバス運行を600人の住民が希望している。日常品の購入は近くの店で購入しているが、雑貨、衣類等は高の原に行っている。自家用車で買い物しているが、いつまで運転できるか不安だ。議会から運行するように会社に要望・指導願いたい。</p> <p>きのつバスが梅谷まで運行している、それを南加茂台5丁目まで延長してほしい。5年、10年かかるてもお願ひしたい。</p>

	<p>A : 難しい要望だが、行政に強く言っておく。</p> <p>Q : 33号P10でマチオモイ部スタートとあるが、よく解らない。なぜカタカナにするのか。新聞には、注目してもらうためと書いてあった。全員賛成でされている。どういう認識で了解されたのか。 広報きづがわP5にも、『市組織の変更』マチオモイ部を新設、観光商工課を生活環境部からマチオモイ部に再編（☎75-1216）、農政課を建設部からマチオモイ部に再編（☎75-1220）とある。 ※で電話番号、配置場所には変更はありません。となっている。言葉だけで解らない。説明願いたい。組織図は。</p> <p>A : ・注目してもらえること等、多くの意見があった。2つの課、農業農産物と観光をタイアップすることによりブランド力の向上、魅力を発信することで、新聞に取り上げられることも注目の1つだ。なお、本格的な再編は12月からです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市で組織もないのに大丈夫か、職員を呼んで聞き取り調査もした。 ・市は地方創生へ向けての本格化が遅い。 ・今後、期待をしたいと思っている、市域は、神社仏閣が多いので、農業振興、観光振興を全国に発信していくべきと思っている。今後とも応援願いたい。 ・市長がマチオモイ部を議案として提出したのは、「部や課を再編すること」、「予算を提出すること」であり、これは市長の専権事項である、そこが市長の想いである。マチオモイ部を議会側が修正できない。賛成か反対だけだ。
質問・要望等 で行政側へ報 告すべき内容	<ul style="list-style-type: none"> ・8月号広報木津川の中で「情報ラインナップ」P34・35中で「ギターリサイタル&ソプラノの爽やかな歌声」、「木津氣功太極拳」など市の後援団体となり、収支報告が適正にされていれば、広報に記載されている。これは、営利行為ではないか、市は広告収入を上げるため宣伝活動をしているが、広告料をもらうのが当たりまえではないか。 ・自分のお孫さんが卒業されると、小学校の見守りを辞めていかれ、見守りの人数が減ってきてている。市の方で各学校に働きかけてほしい。 ・日曜雑貨、衣類等の購入などのために加茂から近鉄高の原駅までのバス路線の延長を求める声があった。
その他の 特記事項	職員の対応に対する意見があり、行政へ伝えて対応しました。

上記のとおり、報告します。

平成27年9月7日

木津川市議会議長 倉 克伊 様

平成27年度第1回議会報告会

第1班 代表者 伊藤紀味枝

印